平成 30 年 3 月 5 日発行

秘在寺

彼岸だより

冷泉山　秘在禅寺
住職　武山清堂　　副住職　武山一堂
〒 421-2105　静岡市葵区郷島 562
電話　054-294-0542
Fax　054-294-0709
info@hizaiji.net
http://hizaiji.net/　（秘在寺）
http://ashita-an.hizaiji.net/（あした庵）

◆春彼岸法話の会

三月二十一日（水・祭）　午後七時
秘在寺本堂

講師は　埼玉県比企郡小川町
圓光寺住職　小林秀嶽師

テーマ　おかげさまの心
『いつでもどこでも仏様』

※菜流寺と合同開催です。
なお、先にお願いした秘在寺の墓地に関するアンケート結果報告を致します。

法話に先立ち、本山からいただいた米寿・成人のお祝いの品を授与致しますので、該当の方はご出席下さい。

米寿
二十歳

＊＊＊＊
＊＊＊＊

シフクノトキコンサートに寄せて

百七～八十人の聴衆、十数軒の出店、二十数名のスタッフが集う第六回シフクノトキ。ギターとスチールギターによる歌声とリズムに乗って、秘在寺に集う全ての人が心躍らせ、目を輝かせ、生き生きとし、このコンサート会場が一つになって光り輝いている。

お彼岸の「彼の岸」とはまさにこの岸、この場なのだ。「般若」を「智恵」と訳し、「智恵」とは「光に向かって生きること」だと学んだ。光に向かって生きるとは、今のこの一瞬を自らが自らを燃やすことだ。それがシフクノトキ（至福の時）、私たちが求めている、波羅蜜多（はらみた）の世界なのだと思う。（住職）

◆永代供養墓　春彼岸法要

三月二十一日（水・祭）　午前十時より

◆静岡市仏教会花まつり

四月四日（水）　午前十二時開場
午後一時開演
静岡市民文化会館

入場無料。裏面に案内を載せてあります。
法要・法話のあとは朝倉さやさんの歌とお話です。
テレビでおなじみの朝倉さやさんは、山形県出身、小学生の時から民謡と三味線を習い、民謡民舞少年少女全国大会で二度優勝、デビュー前から著名な楽曲を山形弁でカバーし、三味線民謡調のアレンジを施して歌い、話題を集めた歌手・シンガーソングライターです。
チラシは秘在寺にありますのでどうぞ。

◆第十三回しずおか句碑の郷（さと）まつり句会

四月八日（日）　午前十時～午後三時
秘在寺本堂にて

◆花御堂へお参り下さい

四月六～八日　本堂に花御堂を飾ります。
六日午前には賎機子ども園の園児がきて　花まつり法要を行います。

◆護持会費

第一期分納入のお願い

世話人さんは三月中に集金して下さい。

◆安倍花園協議会

三月十日
於　宝津院

津渡野から渡村まで、臨済宗七ケ寺の役員さんの総会です。

●墓地移転に関するアンケート結果

突然のアンケートに戸惑った方もいらっしゃったことと思います。かねてから墓地に関してはいろいろなご意見や希望がありましたので、まずは檀家の皆様のお考えを聞かせていただこうとアンケートを実施しました。結果をご報告致します。

墓地整備事業を実施するかどうかは、全くの白紙状態であり、この結果を基にして今後どうするかを考えていきます。なお、故大石徳男様のご寄付によりできる範囲内での参道の補強工事はまもなく実施します。

★白隠展　三月二十五日まで

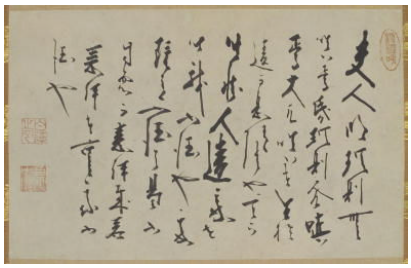
駅前の静岡市美術館で「駿河の白隠さん」と題した白隠禅師の墨跡展が開かれています。

「駿河には過ぎたるものが二つあり、富士のお山に原の白隠」とうたわれた白隠慧鶴（えかく）禅師は、沼津市原の生まれで、臨済宗中興の祖とされ、禅の民衆化に努めたことで知られています。八十三年の生涯のうちに膨大な墨跡・禅画を残しました。秘在寺にも二点が伝わっており、出展しています。

右は「出山釈迦図」

お釈迦様は山に籠もって苦行をしますが、肉体を痛めつけるだけの苦行では悟りは開けないことに気づき山を下ります。そして菩提樹の下で坐禅をし、十二月八日早朝、明けの明星を見てお悟りを開かれました。十二月八日はそれを記念して「成道会（じょうどうえ）法要」が行われます。

その山を下りる姿を描いたのが「出山釈迦図」で、十二月になるとこの軸が掛けられます。



墨跡　「瞋銘（いかりのめい）」

瞋り（いかり）とは怒って他人を恨むことで過ちや行き違いを生じます。それは自分の不徳に原因があるからです。

★ヨガ教室

少し空きができたので新規会員を募集しています。月三回水曜日、夜七時半からです。会費は二千円ですが、お試しは無料ですので、いらしてみて下さい。

★つらら

一月下旬の撮影です。もっと長い状態の日もありました。

★雪

この冬は寒かったですね。二月二日、朝起きると一面の銀世界でした。

第6回シフクノトキ　2月25日

HARVEST 10th Anniversary
Caravan "The Harvest Time" TOUR
2018 Cooperation by シフクノトキ

Caravan
1974 年生まれ。独自の目線で日常を描くリアルな言葉。聞く者を旅へと誘う、美しく切ないメロディ。さまざまなボーダーを越え、一体感あふれるピースフルなライブ。世代や性別、ジャンルを超えて幅広い層からの支持を集めている。

トランスジャパンアルプスレース４連覇
望月将悟さんの
トークショー

ブルーのＴシャツ姿はスタッフの子どもたちです。親子で楽しんでいました。

このイベントは副住職の賤機中学校時代の同級生とその友人達が「この賤機地区を盛り上げたい」、そして「来てくれる人達に喜んでもらいたい」そんな気持ちで主催・運営をしてくれました。臨時駐車場として郷島グラウンドを使用させていただき、また当日は騒音や車の往来等ご迷惑をおかけしたかと思いますが、今後もよろしくお願い致します

天声人語

銀の鈴を振り、槌で鉦を鳴らしながら唱和する。「御詠歌」は仏の教えを短歌や長歌など七五調に詠み込む、いわば祈りの合唱である。中世や近世から真言、天台、曹洞など各宗派が流儀を発展させてきた▼噴火災害が起きた御嶽山のふもと、長野県王滝村の臨済宗鳳泉寺で先日、檀家の女性らの御詠歌に聴き入った。死者不明者は63人。犠牲となった登山客らの霊を慰める調べである▼村の人口は約800。「御嶽へ来て下さった人が大勢亡くなって。ふもとの者として何かできないか、やっぱり鎮魂の歌をやろうと相談しました」と御詠歌会の会長山下愛子さん(86)。四十九日や月命日など折々に歌を捧げてきた▼〈思えば此世は仮の宿〉〈つらき浮き世も耐えゆかばよろこび生くる日は近し〉。歌がきっかけで、村を訪れる遺族との交流が始まった。夫を、息子を亡くし、気持ちの整理がつかないと涙を浮かべる人々を手料理でもてなし、励ました▼村は1984年、県西部地震の震源となり、「御嶽崩れ」と呼ばれた山崩れで村民ら29人が命を落とした。犠牲者を悼む歌も作られた。〈谷間をえぐる崩落の土砂にうづむ幾柱　手向の花のゆれやまず〉▼「災害で家族や知り合いを失うと、残された者の時間はそこで止まってしまいます」と御詠歌会の佐口幸子さん(83)。喪失の痛みを身をもって知る分、村の人たちは山頂の惨事をひとごとと思えない。噴火から3年のきょう、慰霊祭が開かれる。祈りの歌が御嶽の峰に響き渡る。

2017・9・27

購読・配達◇お申し込み0120-33-0843 ◇お尋ね03-5540-7715(7～21時) 紙面関連ご質問・ご意見◆0570-05-7616(平日9～21時、土曜9～18時、日・祝休み)

★御詠歌

少し前になりますが昨年九月の朝日新聞に上の写真のような記事が載りました。

御嶽山噴火から三年目の九月二十七日を前に、被災者家族会「山びこの会」は二十六日に、長野県王滝村で慰霊祭を開いた。参加者は山頂に向かって犠牲者らの名前を呼び掛け、帰らぬ人に思いを伝えた。

慰霊祭は七合目付近の遥拝所で行われ、遺族や不明者家族のほか、村の有志ら計約三十人が参加。黙とうの後、追悼の「御詠歌」を合唱した。

この記事の中の御詠歌は「無常御和讃」で、秘在寺でお葬儀をなさる時には、お通夜の席で寺庭がこの御詠歌をお唱えしています。

静岡市仏教会花まつり